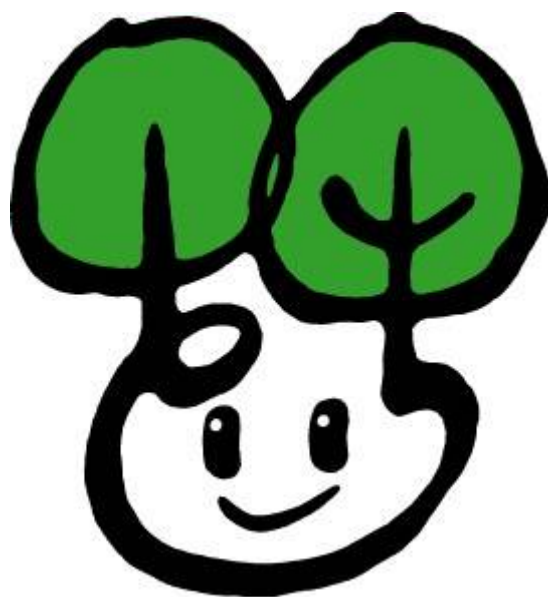


平成20年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



平成21年9月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

はじめに

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会は、平成20年度にスタートした税事業の実施状況を評価、検証し、税の使途の透明性・公平性を確保する目的で、公募委員を含む13名の県民の代表者により平成20年5月に設置されました。

委員会は、これまでに2回の現地調査を含め計8回開催し、評価手法の検討や税事業の評価について議論を重ね、初年度事業について、「有効性」、「効率性」、「進捗度^{ちよく}」の3つの視点から次のような評価を行いました。

すべての事業は概ね効果的、効率的に執行されているものと認められるが、一部事業においては、改善が必要な事項がある。

とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

今後、以下の事項について改善する必要がある。

- ・間伐材の有効利用を図ること。
- ・将来の自発的森林管理を促すための作業路などの整備を進めること。

明るく安全な里山林整備事業

実績が計画を下回ったことから、今後、計画的かつ円滑な事業の執行に一層努める必要がある。

また、以下の事項について改善する必要がある。

- ・藪の刈り払いに加え、抜き伐り等を実施し、より明るく見通しのよい里山林の整備を進めること。

今後、この税による森林の公益的機能の維持、増進への取組が、県民の皆様にとってより良いものとなりますよう、本評価結果に基づき改善されることを期待します。

平成21年9月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会
委員長 笠原 義人

目 次

平成20年度事業実績概要	・・・	p 1
1．とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	・・・	p 2
2．明るく安全な里山林整備事業	・・・	p 3 ~ 4
3．元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	・・・	p 5
4．とちぎ森づくり情報センター事業	・・・	p 6
5．とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業	・・・	p 7
6．森林環境学習推進事業	・・・	p 8
7．とちぎの元気な森づくり県民会議事業	・・・	p 9
8．税事業評価委員会事業	・・・	p 10
9．とちぎの元気な森づくり県民広報事業	・・・	p 11
10．みんなの元気な森づくり支援事業	・・・	p 12
11．森林環境学習支援事業	・・・	p 13
12．木の香る環境づくり支援事業	・・・	p 14

(資 料)

奥山林整備事業一覧	・・・	p 15 ~ 19
奥山林整備事業評価調書	・・・	p 20 ~ 24
里山林整備事業一覧	・・・	p 25 ~ 30
里山林整備事業評価調書	・・・	p 31 ~ 36
税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見	・・・	p 37 ~ 38
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会	・・・	p 39

平成20年度事業実績概要

(1) とちぎの元気な森づくり基金積立金

652,533 千円

内訳	とちぎの元気な森づくり県民税収相当額	649,357 千円
	寄附金	3,176 千円

	(計 画 額)	(実 績 額)
(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業費	630,000 千円	561,168 千円

(奥山林整備事業の国庫補助金を除く。) (執行率) 89.1%

(事業名)	(計 画)	(実 績)	(執行率)
		[全体事業費に占める率]	
1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	2,050 ha 289,100 千円	2,078 ha 294,654 千円	101.9%
		[52.5%]	
2 明るく安全な里山林整備事業	780 ha 219,400 千円	533 ha 152,194 千円	69.4%
		[27.1%]	
3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	51,300 千円	46,557 千円	90.8%
		[8.3%]	
4 とちぎ森づくり情報センター事業	11,868 千円	11,536 千円	97.2%
		[2.1%]	
5 とちぎ森の楽校(がっこう)事業	5,178 千円	5,176 千円	100.0%
		[0.9%]	
6 森林環境学習推進事業	4,547 千円	4,515 千円	99.3%
		[0.8%]	
7 とちぎの元気な森づくり県民会議事業	5,901 千円	5,311 千円	90.0%
		[1.0%]	
8 税事業評価委員会事業	709 千円	736 千円	103.8%
		[0.1%]	
9 とちぎの元気な森づくり県民広報事業	8,197 千円	8,607 千円	105.0%
		[1.5%]	
10 みんなの元気な森づくり支援事業	4,650 千円	3,029 千円	65.1%
		[0.5%]	
11 森林環境学習支援事業	4,650 千円	3,327 千円	71.5%
		[0.6%]	
12 木の香る環境づくり支援事業	24,500 千円	25,526 千円	104.2%
		[4.6%]	

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

(有効性) 事業の効果

便益区分	評価額 (千円) A	整備面積 (ha) B	haあたり評価額 (千円/ha) A / B	備 考
洪水防止便益	1,449,099	2,078	697	整備による降雨流出量減少分を治水ダムで機能代替させる場合のコスト
水質浄化便益	586,724		282	整備による土壌内浸透降雨増加量を施設により浄化する場合のコスト
土砂流出防止便益	1,145,360		551	整備により低減される土砂流出量を保全する砂防ダム建設コスト
計	3,181,183	2,078	1,530	

評価額は「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき算出

【有効性に関する分析】

181千円/haの整備費に対して、洪水防止や土砂流出防止など1,530千円/haの便益が得られた。

(効率性)

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D / C
国庫補助活用事業	1,000	197,000	1,048	190,574	182
森づくり県民税単独事業	1,050	137,100	1,030	135,808	132
事業推進費		46,000		49,253	
整備事業合計	2,050	380,100	2,078	375,635	181

国庫補助活用事業及び整備事業合計の予算額及び決算額は、国庫補助金を含む。

【効率性に関する比較検討】

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	181 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね35%の間伐を実施 ・必要に応じ林内整理 【事業対象経費】 森林の現況調査 間伐実施 事業の実施に必要な歩道の整備
A県	273 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね30%の間伐を実施 ・間伐材については、対象区域内集積 【事業対象経費】 森林の現況調査 間伐実施 事業の実施に必要な歩道の整備
B県	547 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で40%以上の間伐を実施のうえ対象区域内全数集積 ・間伐の実施に必要な作業路の開設 【事業対象経費】 森林の現況調査 間伐実施 事業の実施に必要な作業路の整備

効率性は、事業費を整備面積で除して算出

【効率性に関する分析】

本県の1ha当たりの整備費は他県よりも安価となっているが、これは、他県では間伐に加え間伐材の林内整理や作業路などの整備等を実施していることによる。

(進捗度) 事業の進みぐあい

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
国庫補助活用事業	1,000	197,000	1,048	190,574	104.8	97%
森づくり県民税単独事業	1,050	137,100	1,030	135,808	98.1	99%
事業推進費		46,000		49,253		107%
整備事業合計	2,050	380,100	2,078	375,635	101.4	99%

【進捗度に関する分析】

平成20年度整備計画面積2,050haに対し、2,078haを整備することができた。

平成20年度事業の成果	2,078haの未整備森林を解消することができ、森林の公益的機能が一定程度向上した。なお、事業実施の過程で、森林所有者や林業事業者等から今後の円滑な事業実施に関する様々な意見や要望を聞くことができた。
今後に向けた課題	間伐材の有効利用、間伐の効率化、将来の森林管理等を見据えた作業路などの整備等について、多方面からの意見等を踏まえて検討していく必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ただし、今後、以下の事項について改善する必要がある。 間伐材の有効利用を図ること。 将来の自発的森林管理を促すための作業路などの整備を進めること。

2. 明るく安全な里山林整備事業

(有効性)

里山林整備に関する住民等に対するアンケートを実施する			
〔調査方法〕			
事業	調査対象者	調査時期	調査数
将来まで守り育てる里山林整備	事業実施地自治会	事業実施年度内	全事業箇所
通学路や住宅地周辺の安全・安心確保のための里山林整備	学校、保護者、事業実施地自治会	〃	〃
野生獣被害軽減のための里山林整備事業	事業実施地の農地耕作者、自治会	〃	〃

〔調査結果〕

将来まで守り育てる里山林整備	
1 里山林整備によって、周辺の風景と調和し美しい景観になったと思いますか	「非常に美しい景観になった」50%、「ある程度美しい景観になった」44%、「あまり変わらない」1%、「整備しない方が良かった」1%、「わからない」4%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか	「非常にしやすくなった」46%、「ある程度しやすくなった」45%、「あまり変わらない」1%、「しづらくなった」1%、「わからない」7%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか	「非常にそう思う」47%、「ある程度思う」35%、「ほとんど思わない」8%、「全く思わない」2%、「わからない」8%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか	「とても良かった」59%、「良かった」32%、「どちらでもない」3%、「良くなかった」1%、「わからない」6%

〔調査概要〕

1 整備箇所 32 2 整備面積 144.17ha 3 整備事業費 86,243千円 4 アンケート対象 143人

アンケート結果から有効性に関する分析

美しい景観になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に90%を超えていることから、事業の有効性が図られている。

通学路や住宅地周辺の安全・安心確保のための里山林整備	
1 里山林整備によって、児童・生徒などの通学時の安全・安心が向上したと思いますか	「非常に向上した」44%、「ある程度向上した」53%、「あまり向上しなかった」3%、「全く向上しなかった」0%、「わからない」0%
2 里山林整備によって、住宅地周辺で生活する上で安全・安心が向上したと思いますか	「非常に向上した」32%、「ある程度向上した」65%、「あまり向上しなかった」1%、「全く向上しなかった」0%、「わからない」1%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか	「非常にそう思う」40%、「ある程度思う」52%、「ほとんど思わない」1%、「全く思わない」0%、「わからない」6%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか	「とても良かった」58%、「良かった」40%、「どちらでもない」1%、「良くなかった」0%、「わからない」0%

〔調査概要〕

1 整備箇所 34 2 整備面積 85.26ha 3 整備事業費 14,556千円 4 アンケート対象 77人

アンケート結果から有効性に関する分析

通学時の児童生徒及び住宅地周辺での安全・安心が向上したと思う人が共に97%に及んだことから、事業の有効性が図られている。

野生獣被害軽減のための里山林整備事業	
1 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣の田畑、住宅地への出没が減った(減る)と思いますか	「非常に減った(減りそうだ)と思う」19%、「少し減った(減りそうだ)と思う」51%、「あまり減っていない(減りそうにない)」17%、「まったく減らない(減りそうにない)」7%、「わからない」6%
2 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思いますか	「非常に減った(減りそうだ)と思う」14%、「少し減った(減りそうだ)と思う」52%、「あまり減っていない(減りそうにない)」18%、「まったく減らない(減りそうにない)」7%、「わからない」9%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか	「非常にそう思う」45%、「ある程度思う」44%、「ほとんど思わない」5%、「全く思わない」2%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか	「とても良かった」45%、「良かった」42%、「どちらでもない」7%、「良くなかった」3%、「わからない」2%

〔調査概要〕

1 整備箇所 52 2 整備面積 303.88ha 3 整備事業費 51,395千円 4 アンケート対象 252人

アンケート結果から有効性に関する分析

イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思う人が66%に及んだことから、事業の有効性が図られている。

(効率性)

単位:ha、千円、%

	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績面 積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円) D/C
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業(a)	100	100,000	144.17	86,243	598
通学路等の安全・安心確保のための里山林整備事業(b)	80	14,400	85.26	14,556	171
野生獣被害軽減のための里山林整備事業(c)	600	105,000	303.88	51,395	169
里山林整備事業費合計(a+b+c)	780	219,400	533.31	152,194	285

〔効率性に関する比較検討〕 対象経費が大きく異なるため、(a)と(b)(c)を別けて比較

比較県	効率性	特記事項
栃木県	598 (千円/ha)	【事業対象経費】 不要木の除去 藪の刈り払い 樹木の植栽 歩道の整備 案内標識整備 【実施主体】市町村
A県	1,013 (千円/ha)	【事業対象経費】 除間伐 枯損木処理 植栽 下刈り 作業路の整備 利用施設設置 【実施主体】市町村
栃木県	170 (千円/ha)	【事業対象経費】 不要木の除去 藪の刈り払い 【実施主体】市町村
B県	227 (千円/ha)	【事業対象経費】 不要木の除去 作業歩道の整備 【実施主体】市町村

〔効率性に関する分析〕

整備内容に多少の違いはあるものの1ha当たりの整備費を他県と比較すると本県の方が低廉な価格で実施されているが、「通学路等の安全・安心確保のための里山林整備事業」と「野生獣被害軽減のための里山林整備事業」については、もっと間伐を実施して明るい里山林にしてほしいなどの要望があった。

ちよく

(進捗度)

	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績面 積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業(a)	100	100,000	144.17	86,243	144.2	86.2
通学路等の安全・安心確保のための里山林整備事業(b)	80	14,400	85.26	14,556	106.6	101.1
野生獣被害軽減のための里山林整備事業(c)	600	105,000	303.88	51,395	50.6	48.9
里山林整備事業費合計(a+b+c)	780	219,400	533.31	152,194	68.4	69.4

ちよく

〔進捗度に関する分析〕

整備面積、整備費とも計画の約70%の達成率であった。



達成率70%の原因は、税導入初年度ということもあり、地域住民の合意形成に手間取った箇所が見られたことが大きな要因である。

平成20年度事業の成果	「将来まで守り育てるとちぎの里山林整備」及び、「通学路等の安全・安心確保のための里山林整備」については、共に計画面積を上回ることができ、里山林の持つ公益的機能の向上や通学路等の安全安心が図られた。また、アンケート結果によると里山林を地域全体で保全していこうと思っている人の割合が、3事業とも80%を超えており、地域住民が森の大切さに気づき、地域全体で里山林を保全する気運の高まりが見られる。
今後に向けた課題	地域住民の合意形成が円滑に進むよう市町が開催する税事業説明会等へ職員が積極的に出向き、里山林整備事業をわかりやすく説明する必要がある。また、「通学路等の安全・安心確保のための里山林整備」及び「野生獣被害軽減のための里山林整備」については、より明るい見通しのよい森林とするため、作業内容について検討する必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。ただし、実績が計画を下回ったことから、今後、計画的かつ円滑な事業の執行に一層努める必要がある。また、以下の事項について改善する必要がある。 藪の刈り払いに加え、抜き伐り等を実施し、より明るく見通しのよい里山林の整備を進めること。

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

(有効性)

木製学習用机・椅子配布校 37校の教諭に対しアンケート調査を実施	
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 教諭: 37名(配布校各1名) 【調査時期】 平成21年4月～5月	
【調査結果(教諭)】 アンケート対象 37人	
1 今回配布した木製学習用机・いすの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、児童・生徒に説明されましたか。	「はい」 78%、「いいえ」 22%
2 前に使っていたスチール製の机やいすと比べてどうですか。	「木製の方がよい」 31%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」 44%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」 11%、 「スチール製の方がよい」 8%、「どちらでも変わらない」 6%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」 86%、「知らなかった」 14%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」 73%、「まあまあそう思う」 27%、 「そう思わない」 0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、学校にこの机やいすが整備されてよかったと思いませんか。	「とてもよかった」 38%、「よかった」 49%、「どちらでもない」 13%、 「よくなかった」 0%
【有効性に関する分析】 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思う人が100%に達したことなどから事業の有効性が認められる。	

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	配布数量(セット) (B)	1セットあたりの事業費 A/B (円/セット)	比較対照
46,557	1,800	25,865	A県補助事業 対象事業費上限(補助率1/2) (学習用机・椅子) 27,000円/セット
【効率性に関する分析】 他県における森林環境税では、本県のように机天板に税事業による間伐材を使用している事例はないが、類似事業で行っている他県と比較すると、一定の効率性が確保されている。			

(進捗度)

計画(セット) (A)	実績(セット) (B)	B/A (%)	
1,800	1,800	100	
【進捗度に関する分析】 当初計画どおりであった。			

平成20年度事業の成果	木を使ったり、木材に触れることを通じて、森林整備の必要性について理解促進を図ることを目的に、県内の小中学校に木製の机・椅子を配布したところ、上記の分析のとおり、木材を利用することが健全な森林の維持につながることに理解を深める成果があった。
今後に向けた課題	木材を使用することが、健全な森林の維持に必要であることの理解促進のため、より多くの市町・小中学校に木製机・椅子が配布されるよう取り組む必要がある。また、製作に適した材(奥山林整備で発生するヒノキ間伐材)の確保に努める必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

4. とちぎ森づくり情報センター事業

(有効性)

「とちぎの森づくり」ホームページの登録者(会員)を対象にしたアンケート調査の実施	
アンケート実施における基本的な考え方 【対象及び実施数】 「とちぎの森づくり」ホームページの登録者(ホームページに情報を掲載できる者、会員) 全数(当面は全数) 【調査時期】 随時(第1回目を21年6月に実施)	
【調査結果(会員)】 アンケート対象 15人	
1 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループは活動しやすくなりましたか。	「非常に活動しやすくなった」13%、「活動しやすくなった」33%、「どちらでもない」53%、「活動しにくくなった」0%
2 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループに役立ちそうですか。	「大いに役立つ」27%、「ある程度役立つ」60%、「どちらとも言えない」13%、「役立つたない」0%
3 これからも森づくり活動に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」67%、「これまでと同じように取り組みたい」33%、「あまり取り組みたくない」0%、「取り組みたくない」0%、「わからない」0%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このようなホームページができてよかったと思いますか。	「とても良かった」67%、「良かった」27%、「どちらでもない」7%、「良くなかった」0%
【有効性に関する分析】 ・このホームページが個人やグループの活動に役立つと思う人が87%、このホームページができてよかったと思う人が94%に達したことから、事業の有効性が図れている。	

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	アクセス件数 (B)	A/B (円/アクセス)	比較対照
3,766			システム開発費一式 他県との比較 A県:600千円 B県:200千円 C県:300千円(いずれも会員からの書込機能なし)
7,770	(参考値) 873(件/月)		(参考値) ホームページの公開が21年3月であったため、4月から6月のアクセス件数で比較 情報提供システムへのアクセス件数(H21.4.1~6.30) とちぎのエコ・もり:2,619件 873件/月 他県との比較(件/月) A県:600 B県:3,667 C県:780
【効率性に関する分析】 ・「とちぎの森づくり」ホームページは、会員からの情報を直接ページにアップするシステムを採用しているため、他県のシステム開発費と比較することはできない。 ・「とちぎの森づくり」ホームページへのアクセス件数は、月平均873件(H21.4.1~6.30)で、A県・C県と比べやや多い。			

^{ちよく}
(進捗度)

区分	計画(A)	実績(B)	B/A (%)	備考
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	30	(参考値) 28	93	H21.6末現在までの登録者数
【進捗度に関する分析】 第1四半期の計画30人に対して28人の登録があった。				

平成20年度事業の成果	・森づくりに関する情報提供を行い、県民の活動への参加を促進するため、「とちぎの森づくり」ホームページの開設するとともに、とちぎ森づくり情報センターを設置し、森づくり活動に関する相談やサポートを行った。
今後に向けた課題	・森づくり情報センター及び「とちぎの森づくり」ホームページの周知を図り、森づくり活動の促進につながる情報提供を行う必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ただし、今後、以下の事項について改善する必要がある。 ホームページ「とちぎの森づくり」の周知と内容の充実を図ること。

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

(有効性)

とちぎ「森の楽校」参加者に対しアンケート調査を実施	
アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	延べ参加者数: 356人 うち100人に対し実施
【調査時期】	3月1日～25日
【調査結果】 アンケート対象 72人	
1 講座の内容や体験は、理解できましたか。	「理解できた」61%、「ある程度理解できた」39%、 「理解できなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この講座により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」40%、「ある程度理解が深まった」59%、 「あまり理解が深まらなかった」1%、「これまでとほとんど変わらない」0%
3 この講座は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」51%、「ある程度役立つ」45%、 「あまり役立つたない」3%、「役立つたない」0%、「どちらとも言えない」1%
4 今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」52%、 「これまでと同じ程度に組みたい」46%、 「あまり取り組みたくない」1%、「取り組みまない」0%、「わからない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税によりで、この講座が行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」43%、「よかった」50%、 「よくなかった」1%、「どちらでもない」6%
【有効性に関する分析】 参加者の9割以上が、この講座が今後の森づくり活動に役立つと感じており、今後も、森づくり活動や森の大切さの普及活動に取り組みたいと考えている。また、「荒れた民有林をボランティアで再生したいので、県でこのような企画をどんどんして欲しい」という意見があり、森づくりの機会の提供という県民の要望に対し、本事業は有効であると判断される。	

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	回数・参加者数(人) (B)	A/B (千円/回・人)	比較対照
5,176千円	16回 356人	323千円/回 15千円/人	A県との比較 6,132千円 12回(延べ419人) 511千円/回、 15千円/人
【効率性に関する分析】 類似事業に取り組んでいるA県と比較すると、参加者1人当たりの経費は同額であり、一定の効率化は図られたと考える。			

(進捗度)

計画(回数) (A)	実績(回数) (B)	B/A (%)
14講座16回	14講座16回	100%
【進捗度に関する分析】 当初計画どおりに、14講座16回を開催した。		

平成20年度事業の成果	本事業は、県民の森林の大切さ等に対する理解を促進し、県民参加の森づくり活動を推進することを目的としている。20年度は、上記のアンケート結果から、多くの県民に森林整備の大切さを理解していただき、その後の森づくり活動に対する参加意欲の喚起につながった。
今後に向けた課題	募集方法の工夫や講座内容の充実を図り、本事業への新たな参加者の拡大に努めるとともに、20年度の事業に参加し森づくりの意欲が高まった県民が、継続して活動できるよう、活動の場の提供等の支援をしていく必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

6. 森林環境学習推進事業

(有効性)

当事業を実施した団体(学校)及び指導者研修に参加した教諭に対しアンケート調査を実施

アンケート調査の概要

【対象及び実施数】 事業実施団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者 52名

【調査時期】 3月16日～3月31日

【調査結果】 アンケート対象 31人

1 この事業により、あなたの団体(学校)は森林環境学習に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取組やすくなった」32%、「取組みやすくなった」52%、「取組みにくくなった」0%、「どちらとも言えない」16%
2 この取組は、(参加した)子どもたちにとって、役立ちそうですか。	「大いに役立つ」52%、「ある程度役立つ」42%、「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、「どちらとも言えない」6%
3 今後も、森林環境学習に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」26%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」74%、「あまり取り組みたくない」0%、「取り組みない」0%、「わからない」0%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われてよかったと思いますか。	「とても良かった」36%、「良かった」58%、「どちらでもない」0%、「良くなかった」6%

【有効性に関する分析】

94%の人が、この事業が子どもたちに役立つと感じ、全ての参加者が今後も森林環境学習に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が図れている。

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	参加者数(人) (B)	A/B (千円/人)	比較対照
4,515千円	5,120人	882円/人	A県との比較 8,180千円(1,297人)、6,307円/人

【効率性に関する分析】

類似事業に取り組んでいるA県では6,307円/人、本県では882円/人であった。20年度に本事業を実施した団体の1団当たりの規模が、A県47人/団に対し、本県は210人/団と大きかったことから、効率化が図られたと考えられる。

(進捗度)

計画(実施団体数・回数) (A)	実績(団体数・回数) (B)	B/A (%)	備考
24団体・研修1回・サミット1回	24団体・研修1回・サミット1回	100%	

【進捗度に関する分析】

当初計画どおりに、24団体・研修1回・サミット1回を実施した。

平成20年度事業の成果	本事業は、次代を担う子どもたちに森林の大切さ等の理解促進を図るため、森林環境学習を推進することを目的とし、森林環境学習に係る子どもたちの体験活動や、指導者研修を実施するものである。20年度は、上記アンケート結果から、学校教諭等指導者に森林環境学習の効果について理解していただき、今後の取組みに対する意欲を促進することができた。
今後に向けた課題	募集方法の工夫や事業内容の充実を図り、本事業への新たな参加者の拡大に努めるとともに、20年度事業の参加者に継続的に森林環境学習に取り組んでもらえるよう、活動メニューの情報提供等により支援していく必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ただし、今後、以下の事項について改善する必要がある。 森林環境学習マニュアルの作成(既存マニュアルの内容更新等)・配布などにより、小中学校教員等の森林整備に対する理解促進を図ること。 市町独自のマニュアル作成状況を把握し、内容について、県のマニュアルとの調整を図ること。

7. とちぎの元気な森づくり県民会議事業 木の教育資材開発提供事業

(有効性)

工作教材配布校 45校のうち 4校の児童及び 45校の教諭に対しアンケート調査を実施

アンケート調査の概要

【対象及び実施数】

児童： 96名(配布数(1,076セット)のおよそ1割)

教諭： 47名(配布校各1名以上)

【調査時期】 木工教室体験後及び平成21年3～4月

【調査結果(児童)】 アンケート対象 96人

1 今回の木工工作はどうでしたか。	「とても楽しかった」64%、「まあまあ楽しかった」34%、 「どちらでもない」0%、「楽しくなかった」2%
2 工作の材料である「木」について、どのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」39%、「やわらかい感じ」31%、 「色や木目がきれい」65%、「よい香り」57%、 「何も感じない」5%
3 ほかに木を使って工作したり、木でできたもの(机やイスなど)を使いたいと思いますか。	「とてもそう思う」60%、「どちらかといえばそう思う」30%、 「どちらでもない」8%、「あまり思わない」2%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」56%、「よかった」41%、「どちらでもない」2%、 「よくなかった」1%

【有効性に関する分析】

ほかに木を使って工作したり、木でできたものを使いたいと思うと回答した児童が90%に達したことから、木の良さの普及啓発が図られた。

【調査結果(教諭)】 アンケート対象 47人

1 工作の材料である「木」について、先生自身はどのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」83%、「やわらかい感じ」70%、 「色や木目がきれい」60%、「よい香り」66%、「何も感じない」0%
2 今回の工作学習を実施して、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じますか。	「非常に深まった」26%、「ある程度深まった」74%、 「あまり深まらなかった」0%、「これまでとほとんど変わらない」0%
3 今回のような木工工作学習を、今後も実施したいと思いますか。	「ぜひ実施したい」70%、「どちらかといえば実施したい」28%、 「あまり実施しないと思う」2%、「実施しない」0%、 「わからない」0%
4 森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」77%、「よかった」23%、「どちらでもない」0%、 「よくなかった」0%

【有効性に関する分析】

回答した教諭のすべてが、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じていることなどから、事業の有効性が認められる。

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	配布数量(セット) (B)	A/B (円/セット)	比較対照
1,119	1,076	1,040	平成19年度類似事業 1,228円/セット

【効率性に関する分析】

平成19年度の類似事業と比較すると一定の効率性が確保されている。

(進捗度)

計画(セット) (A)	実績(セット) (B)	B/A (%)	備考
1,000	1,076	107.6	配布工作教材1,076セットの内訳： 本立て(419)、置き時計(155)、鉢入れ(149)、貯金箱(146)、ペンケース(105)、ベンチ(102)

【進捗度に関する分析】

1,076セットの工作教材を配布することができ、計画を上回った。

平成20年度事業の成果	子どもたちに木にふれあう機会を創出することによって、森林の大切さや森林整備の必要性について理解促進を図るため、小学校に木工工作の教材を配布し、木づかいスタッフ等の指導のもと木工体験活動に取り組んだ結果、木の良さや木を使うことの大切さについて理解を深める成果があった。
今後に向けた課題	より多くの児童に、木の良さや木を使うことの大切さを啓発するため、多くの小学校で取り組まれるよう、継続して事業を実施する必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

8. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

(有効性)

とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価手法を決めた。
 事業の評価は「有効性」「効率性」「^{ちよく}進捗度」の3つの視点から行う。
 奥山林における獣害対策の必要性について意見を取りまとめた。

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	開催回数(回) (B)	A/B (千円/回)	比較対照
736千円	5回 (うち現地調査1回)	147千円/回	A県 155千円 (618千円・4回(現地調査なし)) B県 205千円 (1,026千円・5回(うち現地調査1回))
【効率性に対する分析】 委員数や開催回数が近いA県とB県で比較すると、委員会1回当たりの開催経費について本県が最も少額であることから、一定の効率性は図れている。			

^{ちよく}
(進捗度)

平成20年度は、実施した税事業の評価を行うための手法を定めた。

評価委員会開催経過

- 第1回(H20.7.24)税事業評価の考え方、今後のスケジュール検討
- 第2回(H20.8.27)現地調査実施 日光市
- 第3回(H20.11.17)本県の評価手法(案)検討
- 第4回(H21.1.23)本県の評価手法決定
- 第5回(H21.3.16)20年度税事業評価資料(案)等

平成20年度事業の成果	とちぎの元気な森づくり事業の透明性・公平性を確保する観点から、事業の執行状況や効果等について評価・検証等を行うとともに、その他事業の推進に必要な事項を検討するため、今年度から行う評価の手法等について検討を行うとともに、獣害対策が事業の推進に必要であるとして意見を取りまとめ、事業化につなげた。
今後に向けた課題	実際の評価を通じて評価資料の確立を図るとともに、事業の評価・検証を通して明らかになった課題などを次年度以降の事業に生かしていく。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に実施され、適正な運営が行われた。

9. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

(有効性)

県内で行われる各種イベントを活用して、税の認知度等に関するアンケート調査を来場者に対して実施

アンケート調査の概要 平成20年度 県政世論調査と同一の質問項目で実施

【実施数】

延べ702人

【調査時期】

県植樹祭(5月10日)、 県民の日イベント(6月7日、8日)、 エコモリフェア(10月11日、12日)

【調査結果】 アンケート対象 702人

1 平成20年4月から本県で導入している『とちぎの元気な森づくり県民税』いわゆる森林環境税について、次の中から1つ選んで番号に をつけてください。

「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」15.0%
 「名称も税額も知っており、かつ税の使い道もある程度知っている」18.9%
 「名称と税額のみ知っている」8.3%
 「名称は知っているが、税額は知らない」27.6%
 「名称も税額も知らない」25.9%
 「無回答」4.3%

【有効性に関する分析】

H20県政世論調査においては約4割であった、少なくとも「名称は知っている」という回答者が約7割に達したことから事業の有効性が図れている。

ただし、アンケート調査の回答者は県の環境森林に関するイベントの来場者が主であることから、環境・森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測される。

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	納税義務者数(人) (B)	A/B (千円/回・人)	比較対照
8,207千円	1,000千人	8.2円/人	A県6.1円/人 事業費5,541千円、納税義務者数911千人 (全体事業費517,070千円)

【効率性に関する分析】

本県と納税義務者数及び税による全体事業費が近いA県と比較すると、本県の方が納税義務者数1人当たりの事業費が2円程度上回っている。主な要因としてテレビ・ラジオによる広告の実施の有無が考えられる。

(進捗度)

計画(回数) (A)	実績(回数) (B)	B/A (%)	
・パンフレット作成 50,000部 ・テレビ、ラジオ 288回 ・新聞広告 1回	・パンフレット作成 50,000部 ・テレビ、ラジオ 288回 ・新聞広告 1回	100%	

【進捗度に関する分析】

当初計画どおりであった。

平成20年度事業の成果	イベント等でのパンフレット配布やテレビ・ラジオ・新聞の広報を通じて、とちぎの元気な森づくり県民税の趣旨や事業内容等の県民理解の促進を図った。他県との比較においてやや効率性が劣る結果となったが、税事業の認知度は上がっており成果が得られている。
今後に向けた課題	県民の認知度の更なる向上を図るため、あらゆる機会を捉えて広報していくとともに、PRの方法を工夫する必要がある。 また、事業の成果や評価結果を県民にわかりやすく伝えていく必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

10. みんなの元気な森づくり支援事業

(有効性)

当事業により支援を行った市町に対しアンケート調査を実施	
アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】 事業を実施したすべての市町(8市町)	
【調査時期】 平成21年4月	
【調査結果】 アンケート対象 8市町	
1 この事業はあなたの市町の森づくり行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」62.5%、「役立った」37.5%、「役立たなかった」0.0%、「どちらとも言えない」0.0%
2 この事業により、あなたの市町は森づくりに取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」37.5%、「取り組みやすくなった」62.5%、「これまでと変わらない」0.0%、「どちらでもない」0.0%
3 この事業を実施して団体や県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」37.5%、「好評であった」62.5%、「良くなかった」0.0%、「どちらとも言えない」0.0%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」25.0%、「活用する」75.0%、「活用しない」0.0%、「未定」0.0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」50.0%、「良かった」50.0%、「良くなかった」0.0%、「どちらとも言えない」0.0%
【有効性に関する分析】 「今後もこの事業を積極的に活用する」と回答した市町が100%に達したことから、事業の有効性が認められる。	

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	実施団体数(団体) (B)	A/B (千円/団体)	比較対照
3,029	16	189	A県 215千円/団体 (4,512千円 21団体)
【効率性に関する分析】 同様な取り組みを行っている他県と比較するとほぼ同額であり、一定の効率性が認められる。			

(進捗度)

計画(市町数) (A)	実施(市町数) (B)	B/A (%)	
12	8	66.7	
【進捗度に関する分析】 当初計画した市町のうち4市町が実施しなかったため、進捗度が66.7%となった。実施しなかった市町のうち1市は森林環境学習支援事業へ振り替え、3市町は未実施となった。その主な理由としては、事業実施団体との実施時期等の調整が間に合わなかったことが挙げられる。			

平成20年度事業の成果	住民やボランティアを対象とした、森づくり活動や森に親しむ取り組みの支援を行うことを目的とした事業である。実施した結果、有効性に関するアンケート結果の評価は高く、効率性も良いと認められるため、市民やボランティアによる森づくり活動の活発化及び森林の大切さへの理解促進を図ることができたと認められる。
今後に向けた課題	県民全員に森林の大切さの理解促進を図るため、実施市町数の拡大を図る。また、計画予定市町において、計画どおり事業が実施できるよう必要な助言を行う。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。ただし、実績が計画を下回ったことから、今後、計画的かつ円滑な事業の執行に一層努める必要がある。

11. 森林環境学習支援事業

(有効性)

当事業により支援を行った市町に対しアンケート調査を実施

アンケート調査の概要

【対象及び実施数】 事業を実施したすべての市町(10市町)

【調査時期】 平成21年4月

【調査結果】 アンケート対象 10市町

1 この事業はあなたの市町の森林環境教育行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」20.0%、「役立った」70.0%、 「役立たなかった」0.0%、「どちらとも言えない」10.0%
2 この事業により、あなたの市町は森林環境教育に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」20.0%、「取り組みやすくなった」80.0%、 「これまでと変わらない」0.0%、「どちらでもない」0.0%
3 この事業を実施して県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」90.0%、「好評であった」0.0%、 「良くなかった」0.0%、「どちらとも言えない」10.0%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」10.0%、「活用する」90.0%、 「活用しない」0.0%、「未定」0.0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」10.0%、「良かった」90.0%、 「良くなかった」0.0%、「どちらとも言えない」0.0%

【有効性に関する分析】

「今後もこの事業を積極的に活用する」と回答した市町が100%に達したことから、事業の有効性が認められる。

(効率性)

事業費決算額(千円) (A)	参加者・受講者数(人) (B)	A/B (千円/人)	比較対照
3,327	4,069	0.8	A県 1.8千円/人 (5,000千円 2,798人)

【効率性に関する分析】

同様な取り組みを行っている他県と比較すると、一定の効率性が認められる。

ちよく

(進捗度)

計画(市町数) (A)	実施(市町数) (B)	B/A (%)	
9	10	111.1	

ちよく

【進捗度に関する分析】

年度途中で「みんなの元気な森づくり支援事業」から事業を振り替えた1市が追加実施したため、当初計画を上回る結果となった。

平成20年度事業の成果	子どもたちを対象とした、木や森にふれあい親しむ活動や森づくり体験学習活動等を推進し、森林の大切さについて理解促進を図ることを目的とした事業である。有効性に関するアンケート結果の評価は高く、効率性も良いと認められるため、子どもたちに対する森林環境学習の推進を図ることができたと認められる。
今後に向けた課題	将来を担う子どもたち全員に森林の大切さの理解促進を図るため、実施市町数の拡大を図る。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ただし、今後、以下の事項について改善する必要がある。 森林の大切さについての理解促進という目的により重点をおいた内容となるよう、県は市町村に助言すること。

12. 木の香る環境づくり支援事業

(有効性)

当事業により支援を行った市町に対しアンケート調査を実施 【対象及び実施数】 10市町(施設整備3、間伐材有効利用2、木の良さ普及啓発8)	
【調査時期】平成21年3～4月	
【調査結果】 アンケート対象 10市町	
1 この事業はあなたの市町における環境森林行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」30%、「役立った」70%、 「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は木の良さ普及啓発に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」20%、「取り組みやすくなった」60%、 「これまでと変わらない」10%、「どちらでもない」10%
3 この事業により実施(支援)したことによる市町民等の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」20%、「好評であった」70%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」10%
4 今後もこの事業を積極的に活用したいと思いますか。 (木の良さ普及啓発事業)	「大いに活用したい」20%、「活用したい」80%、 「活用したくない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」30%、「良かった」70%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
【有効性に関する分析】 この事業により実施したイベント等による市町民等の反応が、好評であったと、90%の市町において回答されていることから、事業の有効性が認められる。	

(効率性)

施設整備事業 (書きは間伐材有効利用を含んだもの)	事業費決算額(千円) (交付金額) (A)	県産材使用量 (m3) (B)	A/B (千円/m3)	比較対照
	22,000 (22,983)	81.94 (143.04)	268 (161)	H19県木造化補助事業実績との比較: 279千円/m3
木の良さ普及 啓発事業	事業費決算額(千円) (A)	参加者数 (B)	A/B (千円/参加者数)	比較対照
	2,543	3,782	0.7	類似事業との比較: H19県民の日事業 1.6千円/人
【効率性に関する分析】 施設整備事業、木の良さ普及啓発事業とも、木造公共施設や同じ取組と比較し同レベルであるため一定の効率性が確保されている。				

ちよく (進捗度)

区分	計画(施設数・回数) (A)	実施(施設数・回数) (B)	B/A (%)	備考
施設整備事業等	5	5	100	施設数3、間伐材利用2
木の良さ普及啓発事業	66	67	102	イベント等実施回数
【進捗度に関する分析】 当初計画どおりであった。				

平成20年度事業の成果	木を使い、木に触れることを通じて森林整備の必要性について理解促進を図るため、3施設において木造・木質化を図り、8市町で木の良さ普及啓発事業を実施したことにより、木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について理解促進が図られた。
今後に向けた課題	木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について、理解促進が図られるよう、多くの市町村が当事業に取り組まれるよう、今後も事業を継続していく必要がある。
総合評価	当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 <small>ちよく</small>

(資 料)

平成20年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市草久1	H20.10.15～H21.1.20	スギ・ヒノキ	26～45	30～35	55.55	10,888	196	
2	鹿沼市草久2	H20.12.3～H21.2.16	スギ・ヒノキ	32～45	25～35	26.36	4,817	183	
3	鹿沼市草久3	H20.12.19～H21.2.27	スギ・ヒノキ	34～45	20～35	36.09	6,579	182	
4	鹿沼市草久4	H21.1.9～H21.3.13	スギ・ヒノキ	29～45	20～35	23.66	4,463	189	
5	鹿沼市草久5	H21.2.3～H21.3.13	スギ・ヒノキ	16～45	20～30	8.93	1,313	147	
6	鹿沼市上久我	H21.2.3～H21.3.23	スギ・ヒノキ	16～45	20～35	25.91	3,686	142	
7	鹿沼市入粟野1	H20.10.17～H20.12.10	スギ・ヒノキ	16～45	25～35	40.04	6,195	155	
8	鹿沼市入粟野2	H21.1.8～H21.3.6	スギ・ヒノキ	20～44	20～30	22.89	3,476	152	
9	鹿沼市入粟野3	H21.1.29～H21.3.23	スギ・ヒノキ	22～45	20～30	19.62	3,470	177	
10	鹿沼市粕尾1	H20.11.28～H21.1.30	スギ・ヒノキ	16～45	30～35	29.65	5,671	191	【抽出箇所】
11	鹿沼市粕尾2	H21.1.29～H21.3.23	スギ・ヒノキ	43～48	20～35	36.25	6,368	176	
小計						324.95	56,926	175	
【日光市】									
1	日光市中小来川	H20.8.20～H20.11.28	スギ・ヒノキ	16～42	35	19.01	3,780	199	
2	日光市明神	H20.10.22～H21.12.12	スギ・ヒノキ	19～45	30～35	6.38	1,214	190	
3	日光市滝ヶ原1	H20.10.30～H21.1.30	スギ・ヒノキ	19～45	30～35	26.19	5,660	216	
4	日光市滝ヶ原2	H21.1.9～H21.3.10	スギ・ヒノキ	28～45	20～35	19.00	2,991	157	
5	日光市南小来川	H21.1.14～H21.3.19	スギ・ヒノキ	16～45	20～35	22.88	4,226	185	
6	日光市日光1	H21.1.14～H21.3.10	スギ・ヒノキ	33～40	20～35	13.22	1,801	136	
7	日光市宮小来川	H21.1.22～H21.3.23	スギ・ヒノキ	21～45	20～35	26.27	4,806	183	
8	日光市小来川1	H21.2.2～H21.3.23	スギ・ヒノキ	17～45	20～35	29.87	4,213	141	
9	日光市日光2	H21.2.2～H21.3.23	スギ・ヒノキ	30～45	20～35	14.62	2,170	148	
10	日光市小来川2	H21.2.6～H21.3.23	スギ・ヒノキ	22～43	20～35	11.84	1,725	146	
小計						189.28	32,586	172	
【茂木町】									
1	茂木町飯	H20.9.5～H21.11.25	スギ・ヒノキ	16～57	21～35	15.14	2,651	175	
2	茂木町小貫1	H20.11.26～H21.2.25	スギ・ヒノキ	16～50	20～34	27.62	4,777	173	【抽出箇所】
3	茂木町小貫2	H21.1.16～H21.3.23	スギ・ヒノキ	26～60	21～34	27.88	3,631	130	
小計						70.64	11,059	157	

平成20年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【大田原市】									
1	大田原市須賀川1	H20.12.19～H20.3.10	スギ・ヒノキ	12～43	35	27.82	5,595	201	
2	大田原市須賀川2	H20.8.21～H20.12.10	スギ・ヒノキ	11～45	35	40.63	8,942	220	
3	大田原市須賀川3	H21.1.30～H21.3.23	スギ・ヒノキ	15～43	35	34.43	6,684	194	
小計						102.88	21,221	206	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市千本松	H20.11.11～H21.1.9	スギ・ヒノキ	17～35	35	16.13	2,520	156	
2	那須塩原市嶋内	H21.2.4～H21.3.19	スギ・ヒノキ	17～45	35	18.97	3,066	162	
3	那須塩原市上大貫	H21.2.13～H21.3.23	スギ・ヒノキ	17～44	35	11.72	2,326	198	
小計						46.82	7,912	169	
【那須町】									
1	那須町伊王野1	H20.8.26～H20.12.10	スギ・ヒノキ	20～45	35	41.34	9,196	222	
2	那須町伊王野2	H21.1.30～H21.3.23	スギ・ヒノキ	16～47	35	37.05	7,444	201	【抽出箇所】
小計						78.39	16,640	212	
【那須烏山市】									
那須烏山市境		H20.12.18～H21.2.27	スギ・ヒノキ	16～44	35	20.89	3,444	165	
【那珂川町】									
那珂川町大山田		H20.11.14～H21.1.30	スギ・ヒノキ	15～45	35	27.71	5,681	205	
【足利市】									
足利市名草		H20.10.1～H20.11.21	スギ・ヒノキ	32～59	29,35	6.05	1,050	174	
【佐野市】									
1	佐野市作原町1	H20.11.7～H21.1.9	スギ・ヒノキ	24～60	29,35	12.86	2,605	203	
2	佐野市作原町2	H20.11.13～H21.1.30	スギ・ヒノキ	18～53	29,35	22.27	4,497	202	
3	佐野市作原町3	H20.12.10～H21.3.19	スギ・ヒノキ	16～60	29,35	96.04	16,316	170	
4	佐野市飛駒町	H21.1.21～H21.3.25	スギ・ヒノキ	23～60	25～35	25.04	4,379	175	【抽出箇所】
5	佐野市秋山町	H21.1.21～H21.2.27	スギ・ヒノキ	16～53	30～35	4.29	887	207	
小計						160.50	28,684	179	
【矢板市】									
矢板市長井		H21.1.23～H21.2.13	スギ・ヒノキ	17～41	35	7.63	1,906	250	
【塩谷町】									

平成20年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
1	塩谷町船生1	H20.10.10～H20.11.28	スギ・ヒノキ	32～42	35	5.03	732	146	
2	塩谷町船生2	H21.1.29～H21.2.25	スギ・ヒノキ	26～43	35	7.39	1,880	254	【抽出箇所】
小計						12.42	2,612	210	
県合計(a)						1,048.16	189,721	181	
事業計画(b)						1,000.00	195,000	195	
進捗度(a)/(b) %						105%	97%		

平成20年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市入粟野	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	47～59	35	16.98	2,374	140	
2	鹿沼市草久1	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	46～60	20～35	78.27	9,586	122	
3	鹿沼市上久我	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	37～60	20～35	33.36	3,390	102	
4	鹿沼市草久2	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	37～56	20～35	56.40	6,113	108	
5	鹿沼市上粕尾	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	46～60	20～35	52.08	4,719	91	
6	鹿沼市草久3	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	37～60	20～35	58.41	5,729	98	
7	鹿沼市草久4	H20.09.16～H21.1.15	ヒノキ	43～48	35	4.44	3,136	706	搬出間伐
小計						299.94	35,047	117	
【日光市】									
1	日光市西小来川	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	46～59	35	20.86	2,930	140	
2	日光市南小来川	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	46～60	20～35	129.46	11,852	92	
3	日光市滝ヶ原	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	41～60	20～35	85.12	10,611	125	
4	日光市小百	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	41～54	20～35	19.40	1,961	101	
小計						254.84	27,354	107	
【宇都宮市】									
宇都宮市冬室		H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	40～46	35	2.47	353	143	
【茂木町】									
茂木町坂井		H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	36～60	20～35	27.73	2,813	101	
【大田原市】									
大田原市雲岩寺		H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	36～58	20～35	40.36	5,777	143	
【那須塩原市】									
那須塩原市石林		H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	45～52	35	4.30	628	146	
【那須町】									
1	那須町伊王野	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	36～60	35	122.48	17,981	147	
2	那須町湯本	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	39～56	35	12.42	1,803	145	
小計						134.90	19,784	147	
【那須烏山市】									
1	那須烏山市大木須	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	41～57	35	2.30	334	145	
2	那須烏山市三箇	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	39～59	20～35	4.82	575	119	
小計						7.12	909	128	

平成20年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【那珂川町】									
1	那珂川町大山田上郷	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	36～60	20～35	36.92	5,338	145	
2	那珂川町大内	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	41～55	20～35	9.12	1,011	111	
3	那珂川町浄法寺	H20.09.16～H21.1.15	ヒノキ	46～56	35	5.40	2,585	479	搬出間伐
小計						51.44	8,934	174	
【矢板市】									
矢板市根古町		H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	49～54	35	6.11	857	140	
【塩谷町】									
1	塩谷町船生	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	38～59	35	27.25	3,825	140	
2	塩谷町上寺島	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	38～54	20～35	34.23	4,407	129	
小計						61.48	8,232	134	
【佐野市】									
1	佐野市作原町	H20.10.30～H21.3.27	スギ・ヒノキ	38～56	35	32.73	6,721	205	
2	佐野市秋山町	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	36～60	35	78.66	13,772	175	
3	佐野市飛駒町	H20.10.30～H21.6.30	スギ・ヒノキ	36～58	35	27.84	4,627	166	
小計						139.23	25,120	180	
県合計(a)						1,029.92	135,808	132	
事業計画(b)						1,050.00	137,100	131	
進捗度(a)/(b) %						98%	99%		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	鹿沼市粕尾1	樹種	スギ、ヒノキ	林齢	16～45年生
事業概要	事業内容	間伐 29.65ha	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林に指定されているにもかかわらず、条件等の悪い奥地のため、これまで手入れが行われていない。現在は林内に全く陽光が差し込まず、下草のない状態である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率30～35%			
	事業費	5,671,050円			
事業の実施状況					
	【事業完了後】				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	茂木町大字小貫1	樹種	スギ、ヒノキ	林齢	16～50年生
事業概要	事業内容	間伐 27.62ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定されているにもかかわらず、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状態である。このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率20～34%			
	事業費	4,777,500円			
事業の実施状況	 <p>【事業着手前】</p>				
	 <p>【事業完了後】</p>				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	那須町伊王野2	樹種	スギ、ヒノキ	林齢	16～47年生
事業概要	事業内容	間伐 37.05ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定されているにもかかわらず、木材価格の低迷等のため、長期間にわたり手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状態である。このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率35%			
	事業費	7,444,500円			
事業の実施状況					
	【事業着手前】				
					
【事業完了後】					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	佐野市飛駒町	樹種	スギ、ヒノキ	林齢	23～60年生
事業概要	事業内容	間伐 25.04ha	事業の必要性	<p>当計画地は、水源かん養保安林に指定されているにもかかわらず、条件等の悪い奥地のため、これまで手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状態である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率 25～35%			
	事業費	4,378,500円			
事業の実施状況					
	<p>【事業完了後】</p> 				

【事業着手前】

【事業完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	塩谷町船生2	樹種	スギ、ヒノキ	林齢	26～43年生
事業概要	事業内容	間伐 7.39ha	事業の必要性	<p>当計画地は、土砂流出防備保安林に指定されているにもかかわらず、木材価格の低迷等のため、長期間にわたり手入れが行われていない。傾斜が特に急峻で林内へ差し込む陽光が弱く、下草が乏しい状態である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率35%			
	事業費	1,879,500円			
事業の実施状況	 <p>【事業着手前】</p>				
	 <p>【事業完了後】</p>				

平成20年度里山林整備事業一覧(実績)

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
1	鹿沼市茂呂	H20.12.22 ~ H21.2.27	将来まで守り育てる	藪の刈り払い・不要木の除去	鹿沼市	2.03	510	251	
2	日光市小倉	H20.1.8 ~ H21.3.10	"	藪の刈り払い・不要木の除去・歩道整備	日光市	4.20	3,970	945	【抽出箇所】
3	宇都宮市鶴田	H20.12.10 ~ H21.3.10	"	藪の刈り払い	グリーントラスト宇都宮	2.37	367	155	
4	真岡市長田1	H21.1.16 ~ H21.3.19	"	藪の刈り払い・基礎調査	長田自治会	3.00	1,651	550	
5	真岡市長田2	H21.1.16 ~ H21.3.19	"	藪の刈り払い・基礎調査	もおか環境パートナーシップ	1.00	420	420	
6	二宮町高田	H20.7.14 ~ H21.2.20	"	間伐・歩道整備・ベンチ	専修寺の森を守る会	4.10	4,100	1,000	【抽出箇所】
7	益子町益子	H20.12.24 ~ H21.3.10	"	藪の刈り払い・間伐	ましこ里山の会	2.90	1,649	569	
8	茂木町小井戸	H20.2.1 ~ H21.3.10	"	間伐・サクラ等植栽	城山を考える会	10.00	6,090	609	
9	茂木町烏生田	H20.12.11 ~ H21.3.8	"	藪の刈り払い・間伐・歩道整備	烏生田村づくり協議会	15.00	2,550	170	
10	茂木町小貫	H21.1.10 ~ H21.3.25	"	藪の刈り払い・四阿整備	小貫焼森の里協議会	3.00	1,574	525	
11	茂木町黒田	H20.10.1 ~ H21.2.27	"	藪の刈り払い・間伐・歩道整備	黒田地区コミュニティ推進協議会	3.00	510	170	
12	市貝町塙	H21.2.16 ~ H21.3.20	"	藪の刈り払い(竹伐採)	梅の里協議会	1.00	998	998	
13	芳賀町稲毛田	H20.12.1 ~ H21.3.15	"	藪の刈り払い	稲毛田自治会	16.60	3,000	181	
14	大田原市福原	H20.9.24 ~ H21.2.28	"	間伐・下刈り・残材処理・看板設置	大田原市	8.34	8,340	1,000	
15	大田原市堀之内	H20.10.3 ~ H21.2.28	"	間伐・下刈り・残材処理・看板設置	大田原市	9.00	9,000	1,000	
16	那須烏山市中央	H20.12.1 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	那須烏山市	1.80	937	520	
17	那須烏山市南	H20.21.1 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	那須烏山市	4.90	2,550	520	
18	那須町芦野	H20.12.17 ~ H21.3.10	"	剪定・不要木の除去・刈り払い	那須町	7.00	7,000	1,000	
19	那珂川町馬頭	H20.9.17 ~ H21.2.28	"	不要木の除去・藪の刈り払い・歩道整備	那珂川町	5.60	3,406	608	
20	那珂川町小口	H20.9.17 ~ H21.2.28	"	不要木の除去・藪の刈り払い・歩道整備	那珂川町	3.80	2,311	608	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
21	那珂川町久那瀬	H20.9.17 ~ H21.2.28	将来まで守り育てる	不要木の除去・藪の刈り払い・歩道整備	那珂川町	1.50	913	609	
22	足利市名草	H20.11.22 ~ H21.3.2	"	名草松月地区の整備	足利市	2.50	2,500	1,000	
23	佐野市堀米	H21.1.15 ~ H21.3.27	"	不要木の伐採・設計委託	佐野市	1.10	1,038	944	
24	小山市磯宮	H21.2.24 ~ H21.3.30	"	不要木の除去・下草刈り	小山市	3.00	3,000	1,000	
25	下野市国分寺	H20.12.19 ~ H21.3.10	"	下草刈り・不要木伐採・処分	下野市	4.00	1,172	293	
26	大平町下皆川	H21.1.9 ~ H21.3.6	"	下草刈り・除伐	大平町	2.54	3,154	992	
27	大平町西山田					0.64			
28	岩舟町静	H21.1.28 ~ H21.3.19	"	除伐・植栽・歩道看板設置 ベンチ設置	岩舟町	6.49	4,970	766	
29	矢板市中	H21.1.23 ~ H21.3.25	"	藪の刈り払い・歩道整備・案内標識設置	矢板市	5.00	2,610	522	
30	さくら市氏家	H20.11 ~ H21.3.25	"	不要木の除去・藪の刈り払い・案内標識設置	さくら市	3.60	928	258	
31	塩谷町飯岡	H20.10.10 ~ H21.3.24	"	不要木の除去・枝打ち・藪の刈り払い・歩道整備	塩谷町	3.27	3,137	959	
32	高根沢町宝積寺	H21.2.28 ~ H21.3	"	不要木の除去・下草刈り・歩道整備	高根沢町	1.89	1,890	1,000	
33	鹿沼市板荷1	H20.12.7	通学路等の安全・安心確保	藪の刈り払い	サンデーフォレストクラブ	0.38	170	179	
34	鹿沼市板荷2	H21.3.29							
35	日光市大室	H21.2.10 ~ H21.2.27	"	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	2.70	490	181	
36	日光市日向	H21.1.9 ~ H21.3.10	"	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	2.70	422	156	
37	日光市柄倉	H21.2.20 ~ H21.3.20	"	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	1.30	294	226	
38	上三川町坂上	H21.1.30 ~ H21.3.18	"	藪の刈り払い	上三川町	1.61	289	180	
39	茂木町飯	H21.12.10 ~ H21.3.10	"	藪の刈り払い・不要木の除去	茂木町	3.00	4,589	170	
40	茂木町山内・河又					24.00			

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
41	茂木町千本	H21.1.11	通学路等の安全・ 安心確保	藪の刈り払い	下郷地区自治会	1.50	270	180	
42	那須塩原市鍋掛	H21.1.14 ~ H21.3.30	〃	藪の刈り払い	那須塩原市	0.87	109	126	
43	那須塩原市東原	H21.1.14 ~ H21.3.30	〃	藪の刈り払い	那須塩原市	1.11	186	167	
44	那須烏山市中山	H20.12.1 ~ H21.3.19	〃	藪の刈り払い	那須烏山市	0.50	78	155	【抽出箇所】
45	那珂川町薬利	H20.9.17 ~ H21.2.28	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	那珂川町	5.00	880	176	
46	足利市葉鹿町	H21.2.16 ~ H21.3.27	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	足利市	11.37	2,046	180	
47	栃木市皆川城内町	H20.12.18 ~ H21.3.31	〃	藪の刈り払い	栃木市	1.00	180	180	
48	佐野市閑馬町	H20.11.5 ~ H21.2.6	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	佐野市	1.20	216	180	
49	佐野市多田町	H21.1.7 ~ H21.3.30	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	佐野市	1.20	216	180	
50	小山市間々田	H21.3.6 ~ H21.3.30	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	小山市	1.20	216	180	
51	小山市生駒	H21.3.3 ~ H21.3.30	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	小山市	0.60	108	180	
52	壬生町助谷	H21.2.20 ~ H21.3.13	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	壬生町	2.75	493	179	
53	野木町中谷	H20.12.12 ~ H21.3.27	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	野木町	3.00	540	180	【抽出箇所】
54	大平町富田	H21.1.9 ~ H21.3.6	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	大平町	0.70	122	174	
55	藤岡町大田和	H21.3.10 ~ H21.3.31	〃	藪の刈り払い	藤岡町	0.50	78	156	
56	矢板市長井	H21.2.13 ~ H21.3.16	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	6.30	966	153	
57	矢板市幸岡	H21.2.13 ~ H21.3.19	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	2.30	357	155	
58	矢板市館の川	H21.2.13 ~ H21.3.19	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	1.50	233	155	
59	矢板市荒井	H21.2.13 ~ H21.3.19	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.40	62	155	
60	さくら市喜連川	H21.2.6 ~ H21.3.23	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	さくら市	1.80	279	155	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
61	さくら市上河戸	H21.3.3 ~ H21.3.23	通学路等の安全・ 安心確保	不要木の除去・藪の刈り払い	さくら市	1.50	233	155	
62	さくら市金枝	H21.3.3 ~ H21.3.23	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	さくら市	0.30	47	155	
63	さくら市穂積	H21.2.12 ~ H21.3.23	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	さくら市	1.20	186	155	
64	さくら市氏家	H21.1.23 ~ H21.3.23	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	さくら市	0.50	78	155	
65	塩谷町玉生1	H20.11.13 ~ H20.11.17	〃	藪の刈り払い	塩谷町	0.50	90	180	
66	塩谷町玉生2	H20.11.13 ~ H20.11.17	〃	藪の刈り払い	塩谷町	0.20	36	180	
67	鹿沼市板荷1	H20.12.14	野生獣被害軽減	藪の刈り払い	サンデーフォレストクラブ	0.71	124	175	
68	鹿沼市板荷2	H20.12.13 ~ H21.2.15	〃	藪の刈り払い	板荷4区自治会	4.62	808	175	
69	鹿沼市板荷3	H20.12.13 ~ H21.2.11	〃	藪の刈り払い	板荷7区自治会	3.95	691	175	
70	鹿沼市加園1	H21.2.16 ~ H21.3.22	〃	藪の刈り払い	加蘇コミュニティ推進協議会	4.61	807	175	
71	鹿沼市加園2	H21.3.7 ~ H21.3.22	〃	藪の刈り払い	加蘇コミュニティ推進協議会	1.17	205	175	
72	日光市長畑	H20.12.5 ~ H21.1.30	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	9.20	1,610	175	
73	日光市原宿	H21.3.2 ~ H21.3.25	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	6.00	1,050	175	
74	日光市滝ヶ原	H21.1.30 ~ H21.2.28	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	4.90	857	175	
75	日光市和泉	H21.1.30 ~ H21.2.28	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	4.90	857	175	
76	日光市山久保	H21.2.15 ~ H21.2.28	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	1.20	232	193	
77	日光市藤原	H21.3.2 ~ H21.3.25	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	3.80	665	175	
78	日光市日向	H21.1.9 ~ H21.3.10	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	4.20	633	151	
79	日光市足尾	H20.12.26 ~ H21.2.10	〃	不要木の除去・藪の刈り払い	日光市	2.00	430	215	
80	西方町真名子1	H20.12.22 ~ H21.3.13	〃	藪の刈り払い	西方町	16.18	2,814	174	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
81	西方町真名子2	H20.10.27 ~ H21.2.24	野生獣被害軽減	藪の刈り払い	西方町	14.20	2,447	172	【抽出箇所】
82	宇都宮市冬室	H20.12.25 ~ H21.3.19	〃	藪の刈り払い	冬室自治会	5.10	525	103	
83	益子町小宅	H20.12.19 ~ H21.3.10	〃	藪の刈り払い・間伐	小宅自治会	3.90	683	175	
84	益子町西明寺	H20.12.19 ~ H21.3.26	〃	藪の刈り払い・間伐	西明寺自治会	10.40	1,820	175	
85	益子町梅ヶ内・本沼	H20.12.19 ~ H21.3.26	〃	藪の刈り払い・間伐	梅ヶ内・本沼自治会	11.33	1,760	155	
86	茂木町林	H20.11.30 ~ H21.2.21	〃	藪の刈り払い	林協議会	1.50	263	175	
87	茂木町烏生田	H20.12.1 ~ H21.3.8	〃	藪の刈り払い	烏生田の里山を守る会	12.00	2,100	175	
88	茂木町竹原	H20.11.15 ~ H21.3.15	〃	藪の刈り払い	竹原里山会	5.00	875	175	
89	茂木町下飯	H20.10.18 ~ H21.3.10	〃	藪の刈り払い	木の葉会	2.00	350	175	
90	茂木町九石	H21.2.1 ~ H21.3.20	〃	藪の刈り払い	九石里山保存会	2.00	350	175	
91	茂木町青梅	H20.10.10 ~ H21.3.10	〃	藪の刈り払い	茂木町	2.00	9,765	170	
92	茂木町小深山中					14.00			
93	茂木町上飯					3.00			
94	茂木町天子甲					15.50			
95	茂木町大瀬					8.00			
96	茂木町上後郷					15.00			
97	大田原市亀久	H20.9.24 ~ H21.1.1	〃	藪の刈り払い・不要木の除去	大田原市	7.00	1,225	175	
98	那須塩原市板室1	H21.1.14 ~ H21.3.30	〃	藪の刈り払い	那須塩原市	1.61	251	156	
99	那須塩原市板室2	H21.1.14 ~ H21.3.30	〃	藪の刈り払い	那須塩原市	6.89	1,070	155	
100	那須烏山市下境	H20.12.1 ~ H21.3.19	〃	藪の刈り払い	那須烏山市	6.00	935	156	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
101	那珂川町大山田	H20.9.17 ~ H21.2.28	野生獣被害軽減	藪の刈り払い	那珂川町	6.00	1,050	175	
102	足利市葉鹿町	H21.2.16 ~ H21.3.27	"	藪の刈り払い	足利市	19.37	3,389	175	
103	佐野市長谷場町	H21.1.7 ~ H21.3.30	"	不要木の除去・藪の刈り払い	佐野市	1.50	263	175	
104	佐野市船越町・岩崎町・戸室町	H21.1.7 ~ H21.3.30	"	不要木の除去・藪の刈り払い	佐野市	21.90	3,833	175	
105	佐野市戸室町	H21.1.5 ~ H21.3.16	"	不要木の除去・藪の刈り払い	佐野市	2.00	350	175	
106	都賀町大柿	H21.1.15 ~ H21.3.16	"	不要木の除去・藪の刈り払い	都賀町	19.80	3,101	157	
107	矢板市平野1	H21.2.13 ~ H21.3.23	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	1.10	166	151	
108	矢板市平野2	H21.2.13 ~ H21.3.23	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	2.80	475	169	
109	矢板市長井1	H21.2.13 ~ H21.3.23	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	2.40	407	169	
110	矢板市長井2	H21.2.13 ~ H21.3.23	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.70	106	151	
111	矢板市長井3	H21.2.13 ~ H21.3.23	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.70	119	169	
112	矢板市高原1	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.50	78	155	
113	矢板市高原2	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	1.40	217	155	
114	矢板市弓張1	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.20	31	155	
115	矢板市弓張2	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	2.20	341	155	
116	矢板市弓張3	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.50	78	155	
117	矢板市弓張4	H21.2.13 ~ H21.3.19	"	不要木の除去・藪の刈り払い	矢板市	0.30	47	155	
118	塩谷町飯岡	H20.12.17 ~ H20.12.19	"	藪の刈り払い	塩谷町	0.14	38	268	
119	塩谷町上寺島	H21.2.2 ~ H21.3.5	"	藪の刈り払い	塩谷町	6.50	1,109	171	【抽出箇所】
県合計 (a)						533.31	152,194	285	

事業計画 (b)						780.0	219,400	281	
進捗度 (a) / (b) %						68.4%	69.4%	101.5%	



とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	日光市
所在地	日光市小倉		事業の必要性	古くから古城跡として地域住民に親しまれてきた森林であり、自然や歴史に触れることができる里山林として、将来まで守り育てていくため、整備する必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 藪の刈り払い 歩道の整備 等		
	整備面積	4.2 ha		
	事業費	3,970,000円		
事業の実施状況				【事業着手前】
				【事業完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	二宮町
所在地	二宮町高田		事業の必要性	境内の里山林は地域のコミュニティーの場としての機能を有するが、長年手入れが行われておらず、整備要望があがっている。 そこで、地域住民や専修寺に訪れる多くの人々の憩いの場を提供するために、林内を明るくし、生物多様性の保全を図る整備を行っていく。
事業概要	事業内容	藪の刈り払い、歩道整備等		
	整備面積	4.10ha		
	事業費	4,101,754円 交付金 4,100,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅地周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)		事業主体	那須烏山市
所在地	那須烏山市中山			
事業概要	事業内容	藪の刈り払い	事業の必要性	通学路に近接する見通しの悪い山林を、生徒や住民の安全・安心を確保するため、整備する必要がある。
	整備面積	0.5ha		
	事業費	77.687円		
事業の実施状況				
	<p>【事業着手前】</p>			
事業の実施状況				
	<p>【事業完了後】</p>			



とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅地周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)		事業主体	野木町
所在地	野木町中谷		事業の必要性	通学路沿いや住宅地周辺にある里山林がうっそうとしているため、通学児童や周辺住民の安全・安心の確保ため整備する必要がある。
事業概要	事業内容	藪の刈り払い、倒木処理		
	整備面積	3.00ha		
	事業費	540,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	西方町
所在地	西方町真名子2		事業の必要性	イノシシによる農作物被害が発生している農地周辺の森林であり、イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯として藪を刈り払う必要がある。
事業概要	事業内容	藪の刈り払い		
	整備面積	14.2ha		
	事業費	2,446,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	塩谷町
所在地	塩谷町上寺島		事業の必要性	農地周辺の藪化した森林を、イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯として藪の刈り払い等の整備する必要がある。
事業概要	事業内容	藪の刈り払い		
	整備面積	6.50ha		
	事業費	1,109,413円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見

1 全般

税事業については、奥山林と里山林の整備が重点となるよう留意する必要がある。

研修会、講習会、打合せ会議を開催するなど、市町担当職員に対する県担当職員の支援体制を、組織的・財政的に強化するよう検討してほしい。

森林所有者と県担当職員等の連携の下に事業が実施できる体制づくりが必要である。

2 奥山林整備事業

税事業期間が終了する10年後には所有者の自発的な森林管理を促すような、事業内容の検討を行う必要がある。

初年度は伐り捨て間伐でもやむを得なかったが、整備の質を上げるなど、間伐を含めた整備手法について検討する必要がある。

所有者の自発的な森林管理の促進や、バイオマス利用などの間伐材の有効利用等を図るためには、作業路などの整備が必要である。

林業関係者を元気にしなければ元気な森づくりはできないことから、作業路の整備など、将来まで元気な森を守るための事業の検討が必要であり、それにより当初の計画に変更が生じたとしても県民の理解は十分得られるのではないか。

整備手法について、効率性を重視する意見と、整備面積は少なくなっても作業路の整備などを併せて行った方がいいという意見があるが、評価委員会としての意見をまとめる場合は、効率性に関する両方のデータを県民に投げかけて判断してもらう必要がある。

現場に合った標準的な作業単価の検討をしてほしい。

3 里山林整備事業

税を払っている人に理解を得るためには、整備した里山林に、税を活用したという表示をもっとすべきである。

通学路等の安全安心や獣害軽減のための整備での現在の単価では、抜き伐りなどが必要であっても実施困難な場合もあるので、作業内容の見直しを行うべきである。

野生鳥獣被害軽減のためには、藪の刈り払いだけでなく、集落ぐるみでより

多くの関係者が協議するなど、本格的な被害防止が必要と思われる。
管理費の交付期間が終了した後も、地域住民の皆さんが下草刈りなどを自分たちでやっていくような気運を高めてほしい。

4 木の良さ普及開発事業（机・いす配布）

子どもたちにもいいことだと思うので、間伐材を活用し、より多くの机・いすを配布した方が良い。

机・いす製作の単価が高いと感じたが、間伐材の利用が進めば単価が抑えられるのではないかとと思われる。

シンボルマークを机・いすに付けるようにしてほしい。

5 森づくり情報センター事業

ホームページのアクセス数を上げるため、周知だけでなく有益な情報を提供できるように内容の充実を図る必要がある。

問題提起型のホームページなど、県民に投げかけるような広報のあり方も研究し、教育現場でも取り上げてもらうようになると理解が深まる。

6 県民広報事業

税の認知度について、県政世論調査とイベント参加者へのアンケートで違いはあるが、対象者の属性が異なるので単純には比較できない。

県をいくつかのブロックに分けて税の現場を実際に見てもらうといったことを広報活動の中で取り入れてもいいと思う。

7 森林環境学習支援事業

ただ木と触れ合うだけではなく、いいものをつくっていい体験をしたという思いを子どもたちに感じてもらうようにしてほしい。

市町が独自につくった森林環境学習のマニュアルをチェック、すりあわせした上で、先生方の研修等を開催すべきである。

短時間のビデオなど、学校で先生と子どもたちが一緒に見られるようなものも必要である。

8 木の香る環境づくり支援事業

公共の場に木製の椅子を設置すればPRにもなると思う。

教育にも非常にいい効果があると思う。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

1 委員一覧（五十音順 敬称略）

印南一子	公募委員	
大柿悦雄	株式会社とちぎテレビ常務取締役	H21.6. 5から
小野ナツ	栃木県地域婦人連絡協議会副会長	
笠原義人	宇都宮大学名誉教授	（委員長）
神野俊彦	前 株式会社とちぎテレビ常務取締役	H21.6. 4まで
古口達也	栃木県市町村林野振興対策協議会会長	
児玉博昭	白鷗大学法学部准教授	（委員長職務代理 H21.7. 9まで）
齋藤正	林業者	
高村正勝	日光地区森林組合代表理事組合長	
床井信一	栃木県中小企業団体中央会専務理事	
新嶋高行	2000年記念の森の会運営委員長代行	
萩原節夫	公募委員	
原田いづみ	弁護士	
山口厚江	作新学院大学・日本大学講師	（委員長職務代理 H21.7.10から）

2 委員会の開催経過（H21.8.31現在）

平成20年度

第1回	平成20年 7月24日（木） 評価の考え方、今後のスケジュールに関する意見交換
第2回	平成20年 8月27日（水） 平成20年度事業実施予定箇所の現地調査
第3回	平成20年11月17日（月） 評価手法（案）に関する意見交換
第4回	平成21年 1月23日（金） 評価手法（案）に関する意見交換
第5回	平成21年 3月16日（月） 評価資料（案）に関する意見交換

平成21年度

第1回	平成21年 6月18日（木） 平成20年度事業実施箇所の現地調査
第2回	平成21年 7月 9日（木） 平成20年度事業評価資料（案）に関する意見交換
第3回	平成21年 8月31日（月） 平成20年度事業評価報告書（案）に関する意見交換